

026

令和7年度 一般推薦入学試験問題

専門課題 小論文
(初等教育コース 初等教科専攻 情報・技術専修
中等教育コース 情報・技術専攻)

〔注意〕

1. 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号と氏名を記入してください。
3. この冊子は問題用紙1枚と下書き用紙1枚です。この冊子と別の解答用紙は2枚です。印刷の不鮮明な箇所などがあれば申し出てください。
4. 解答は解答用紙の指定された場所に記入してください。
5. この冊子は持ち帰ってください。

令和7年度 一般推薦 専門課題 小論文 問題用紙
(初等教育コース 初等教科専攻 情報・技術専修)
(中等教育コース 情報・技術専攻)

次の文章を読んで、以下の各問いに答えなさい。

最初に、以下の逸話を読んでいただきたい。技術と社会との関係を実に印象深く描いている物語なので、少し長いですが、引用しておきたい。

1970年代の初め、スペイン北東部にある小さな村、イビエカの家々に上水道が引かれることになった。水は水道管を通して直接各家庭に送られることになったので、イビエカの人びとはもはや村の井戸から水を運んでくる必要がなくなった。村の家々では、しだいに洗濯機を購入するところが多くなり、女たちは洗濯物を手洗いするために村の洗濯場に来ることがなくなった。

つらい仕事は技術のおかげで余計なものになったが、同時に村の社会生活が予期せぬ仕方で変わってしまった。村の共同の井戸と洗濯場は、かつては活発な社交の場であったが、いまやほとんど人が集まらなくなってしまった。男たちは、子どもたちやロバとの付き合い方をしだいに忘れていった。子どもやロバは、水を運ぶために彼らの手助けをしてくれていたのである。女たちは、洗濯場が集まって洗濯をしながら、男たちや村の生活についてあれこれゴシップを語ることをやめてしまった。それらのゴシップは、かつては政治的な力をもっていたのだが、後になってみると、水道を引くということは、イビエカの人びとが築いていた結びつき、つまり、お互いの中で、あるいは動物たちとの間で、そして土地との間で築いていた強力な結びつきの破壊を助けることになったということになる。この結びつきこそが彼らの共同体を作っていたのである。

この物語のなかには技術と社会の関係を考えるうえでヒントになる事柄が数多く含まれている。イビエカの人びとは、上水道を引くという計画を立てられたとき、水汲みや洗濯など、それまでの労苦の多い仕事から解放されることになり、喜んだにちがいない。あるいは、ようやく近代的な生活を送れるようになったことを歓迎したかもしれない。しかし、その結果、人びとの社会関係や生活の仕方がこれほどまでに大きく変わるとは考えはしなかつただろうし、また、計画を立てた人びともそのような結果が生じるとは予想しなかつただろう。しかし、いったんこのような仕方で新たな技術が社会に導入され、社会のあり方が根本的に変化してしまうと、もはやそれを元に戻すことは不可能である。こうした事情があるにもかかわらず、多くの場合、技術の導入に関してその結果生じるだろう事柄を広く予想したり、議論したりすることはほとんどなされることはない。

(出典：村田純一『技術の哲学 — 古代ギリシャから現代まで』2023年、講談社を一部改変)

【問1】 イビエカで起こった問題を簡潔に述べなさい。

【問2】 下線部の理由を簡潔に述べなさい。

【問3】 イビエカの事例で示された問題点を踏まえて、技術の果たす役割を学校教育でどのように伝えていくべきか、あなたの考えを述べなさい。